

特定健診の検査項目は

健診の基本的検査項目は、メタボリック症候群対策を重視したものになります。新しく腹囲測定と動脈硬化を進行させるLDLコレステロールの検査が追加されました。65歳以上の方は生活機能評価が同時受診となり、生活機能評価に関連する診察と血清アルブミンの検査があります。

質 問 票		今の体の状態や生活習慣の様子、使用中の薬や過去にかかったことのある病気について質問します。	
身体計測	身長・体重	BMIを算出することによって、肥満度がわかります。	
	腹 囲	メタボリック症候群の大切な指標になります。	
理 学 的 検 査		顔色や筋肉・関節の動き、心音に異常がないのかななどを調べます。	
血 圧 測 定		血圧の状態を調べます。血圧が高いと動脈硬化などの原因になります。	
血 液 検 査	脂 質 検 査	中 性 脂 肪 (TG)	増えすぎると肥満や脂肪肝、動脈硬化の原因になります。
		HDLコレステロール	数値が低いと動脈硬化を進行させる原因となります。
		LDLコレステロール	数値が高いと単独で動脈硬化を進行させる原因になります。
	肝機能検査	A S T (G O T)	肝臓に障害があると、AST、ALTともに増加します。特に脂肪肝はALTの検査値に反映されます。
		A L T (G P T)	
		γ - G T (γ - G T P)	肝臓に障害があると数値が高くなります。特に過度の飲酒で上昇する傾向があります。
	血 糖 検 査	ヘモグロビンA1c	検査前の食事や運動に影響されにくく、過去1~2か月の平均的な血糖の状態がわかります。長期的な血糖コントロールの手がかりになります。
	貧 血 検 査	ヘモグロビン	数値が低くなると、貧血の可能性あります。
		赤 血 球	
		ヘマトクリット	
蛋 白 検 査	血清アルブミン	数値が低いと、低栄養の可能性あります。(65歳以上)	
尿 検 査	尿 糖	血糖値が高い状態が続くとブドウ糖が腎臓でうまく吸収されずに、尿中に糖が出やすくなります。	
	尿 蛋 白	数値が高いと、腎機能の障害が疑われます。	
心機能検査	心 電 図	脈拍や心筋、冠動脈(心臓を取り巻く血管)などの異常を発見します。動脈硬化が進行していると、冠動脈の血流が悪くなります。	

※平成20年度の特定健診の結果をもとに、いままでの病気や診察などを考慮し、医師が必要と認めた方には、平成21年度の健診項目に眼底検査が加わります。

健診の日程等の詳細について

特定健診は、がん検診・生活機能評価などと同時受診できます。詳細は、「平成20年度行政カレンダー」および「広報しもつけ4月号」にてお知らせします。また、国民健康保険以外の健康保険に加入されている方およびその被扶養者の方には、各健康保険から案内があります。それにしたがって受診してください。

自分自身の健康チェックを兼ねて、年1回は必ず健診を受けましょう!



問い合わせ先

保険年金課 ☎40-5558